

2020年情報科の取り組み

2020年度の情報科の授業は、1年次には必修科目として「社会と情報」が設置されており、全員が学習します。さらに、1年次の選択科目として「情報の表現と管理」、2・3年次の選択科目として「情報デザイン」「表現メディアの編集と表現」「アルゴリズムとプログラム」が設置されており、自分の進路や興味・関心に応じて選択し、学習することができます。

社会と情報(1年次必修科目)

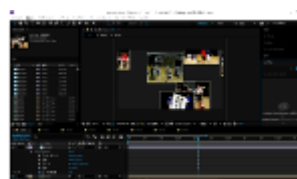
教科書・プリントを利用し、情報を適切に収集・処理・発信するための基本的な知識を習得します。また、2020年度のコンピュータを使用した課題実習では、ExcelやWordの基本的な技能を習得したり、Power Pointを使って資料を作成し、プレゼンテーションの実施をおこないました。



Power Point を使った
プレゼンテーション

表現メディアの編集と表現(2・3年次選択科目)

課題実習をとおして、情報の表現に関する基礎知識と技能を習得します。2020年度は主にAdobeのソフトを使用しました。Animateを使って、アニメーションを作成したり、Dreamweaverを使ってJavaScriptやスタイルシートを利用したWebページを作成しました。また、After EffectsやPremiereを使って、動画の制作をおこないました。



編集中のPremiere画面



AfterEffectで作成した文字

情報の表現と管理(1年次選択科目)

教科書やプリントを通して、情報の表現に関する基礎的内容を学習し、課題実習に取り組むことによって、メディアの適切な活用と表現する能力と技術を習得します。2020年度のコンピュータを使用した課題実習では、WordやExcel、Power Pointの基礎から発展まで技術を習得します。他にも、MIDI音楽編集ソフトを使った楽曲制作、IllustratorやPhotoshopを使った画像制作、Premiereを使った映像編集をおこないました。

アルゴリズムとプログラム(2・3年次選択科目)

C言語について基礎から学び、プログラミング及びデータ構造に関する知識と技術を習得します。2020年度は、選択者が開講人数に達しなかったため開講されませんでした。例年プログラマー等IT関係の進路を考えている生徒が選択をしています。2021年度は開講の予定です。

情報デザイン(2・3年次選択科目)

課題実習をとおして、コンピュータデザインの基礎的な知識と技術を習得します。2020年度は「地域の新発見」というテーマの文書デザインコンテストに応募したり、立体・造形的なデザインを理解するためにサンドブラストや3Dカードの制作をおこないました。



3Dカード



サンドブラスト